

## 2019 年度 国際漁業学会大会案内

日 時：2019年8月3日（土）13：00～18：00（終了後懇親会あり）

8月4日（日）9：30～15：45

会 場：東京海洋大学（〒108-8477 東京都港区港南 4-5-7）

参加費：大 会 一般会員 2,000 円、一般非会員 3,000 円、学生無料

懇親会 一般 5,000 円、学生 3,000 円

※懇親会へ参加される方は、7月15日までに国際漁業学会事務局（jifrs.kindai@gmail.com）までお申し込み下さい。

※個別報告は、1 報告あたり 25 分（質疑含む）の予定です。個別報告を希望される会員は、報告者の氏名、所属、および報告タイトルを添えて、7月10日までに国際漁業学会事務局（jifrs.kindai@gmail.com）までお申し込みください。また、7月15日までに報告要旨（40 字×25 行以内）を、7月28日までに報告資料（当日までに改変可、事前に座長に渡します）を、それぞれメールで事務局まで提出してください。

※報告論文について

シンポジウム報告および個別報告の報告者におかれましては、大会終了後に報告内容をベースとする 10 枚程度までのコンパクトな和文論文を「報告論文」として和文誌『国際漁業研究』に投稿することができます。報告論文の査読手続きは一般投稿論文と同じで、掲載料は 1 万円となっています。報告予定者におかれましては、「報告論文」への奮っての投稿をお願いします。

※報告要旨集等は配布しませんので、要旨等は、各自で事前にホームページ（<http://jifrs.info>）からダウンロードをお願いします。

### ■大会スケジュール

8月3日（土）

（ 9:40－11:00 編集委員会 ）

楽水会館 2F 特別会議室

（11:10－12:30 理事会 ※各自で昼食をご用意下さい）

楽水会館 2F 特別会議室

13:00－18:00 シンポジウム

楽水会館 1F 大会議室

18:10－20:00 懇親会

大学生協

8月4日（日）

9:30－11:45 個別報告

会場①:楽水会館 1F 大会議室、会場②:楽水会館 2F 小会議室

11:45－13:00 お昼休み

13:00－14:15 個別報告

会場①:楽水会館 1F 大会議室、会場②:楽水会館 2F 小会議室

14:30－15:45 総会

楽水会館 1F 大会議室

### ■シンポジウムプログラム

「日本の水産物フードシステムの特質と持続可能性ーその経験と課題ー」

#### 【趣旨】

近年、国連の掲げる持続可能な開発目標（SDGs）や水産エコラベルの国際標準化の潮流に代表されるように海洋資源の保全と持続可能な利用に関して世界から我が国への要求が高まっています。他方、里海（Satoumi）やもったいない（Mottainai）など我が国から世界へと発信されている知恵もあります。2019年の国際漁業学会では、日本の水産物フードシステムの特質と持続可能性に関する経験と課題につ

いて、積極的に評価すべき側面と批判的検討が必要な側面の両面から議論し、来年に控えた東京オリンピックで日本の漁業・水産業の持続可能性に関する知恵や技術、価値観を世界に発信する可能性を議論する機会としたいと思います。

コーディネーター	婁小波（東京海洋大学）
司会	川辺みどり（東京海洋大学）
13:00－13:05	会長挨拶 多田稔（近畿大学）
13:05－13:25	解題 婁小波（東京海洋大学）
13:25－13:55	報告 1 「日本独自の水産物エコラベルと持続可能な発展」 大石太郎（東京海洋大学）
13:55－14:25	報告 2 「高鮮度水産物流通システムと持続可能性」 中原尚知（東京海洋大学）
14:25－14:35	休憩
14:35－15:25	報告 3 「未利用・低利用魚介類資源の利用意義と価値創造」 宮田勉（中央水研）・鈴木裕己（株式会社プロ・スパー）
15:25－15:55	報告 4 「環境保全における里海コンセプトとその重要性」 柳哲雄（九州大学名誉教授）
15:55－16:25	報告 5 「漁業の持続性と日本の資源管理（仮）」 猪又秀夫（水産庁）
16:25－16:35	休憩
16:35－16:45	コメント 1 綿貫尚彦（OAFIC）
16:45－16:55	コメント 2 山下東子（大東文化大学）
16:55－17:55	ディスカッション
17:55－18:00	閉会挨拶 宮田勉（中央水産研究所）

## ■会場アクセス

東京海洋大学 楽水会館（〒108-8477 東京都港区港南 4-5-7）

